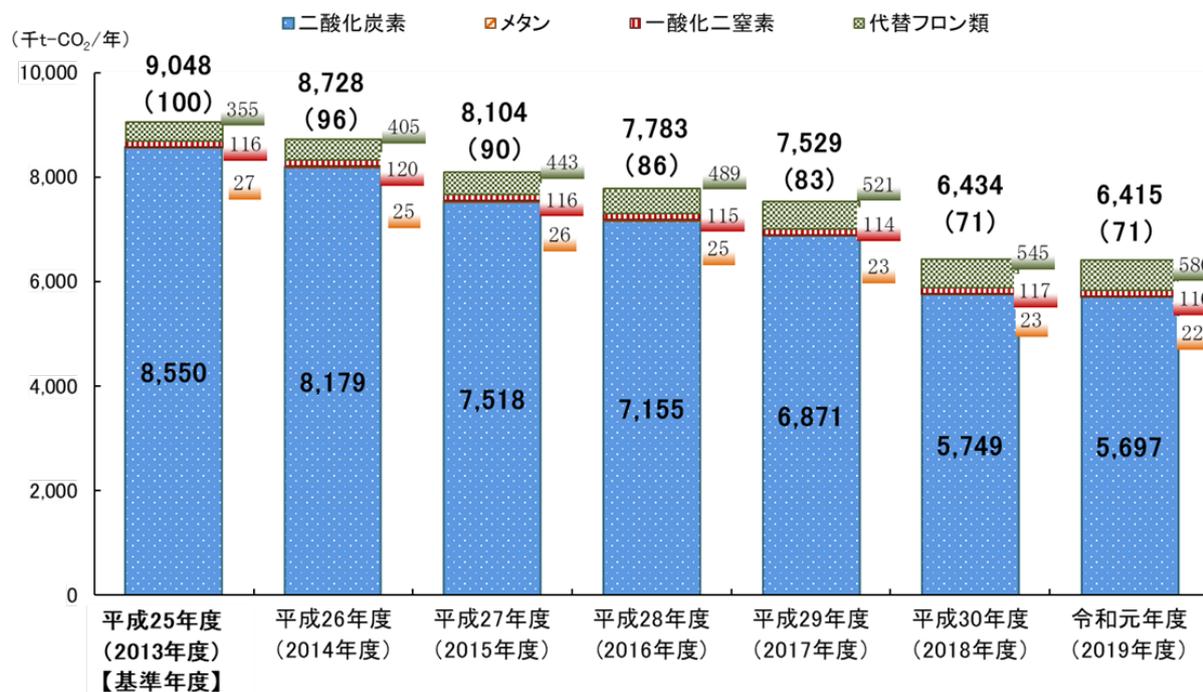


環境の状況

IV 地球温暖化対策・エネルギーに 関するデータ

1 福岡市における温室効果ガス排出量（二酸化炭素換算）の推移

福岡市の2019（令和元）年度における温室効果ガス排出量は、福岡市地球温暖化対策実行計画の基準年度である2013（平成25）年度と比べ、約2,633千t-CO₂減少（29%減）しています。



()内の数値は平成25(2013)年度を100としたときの指数

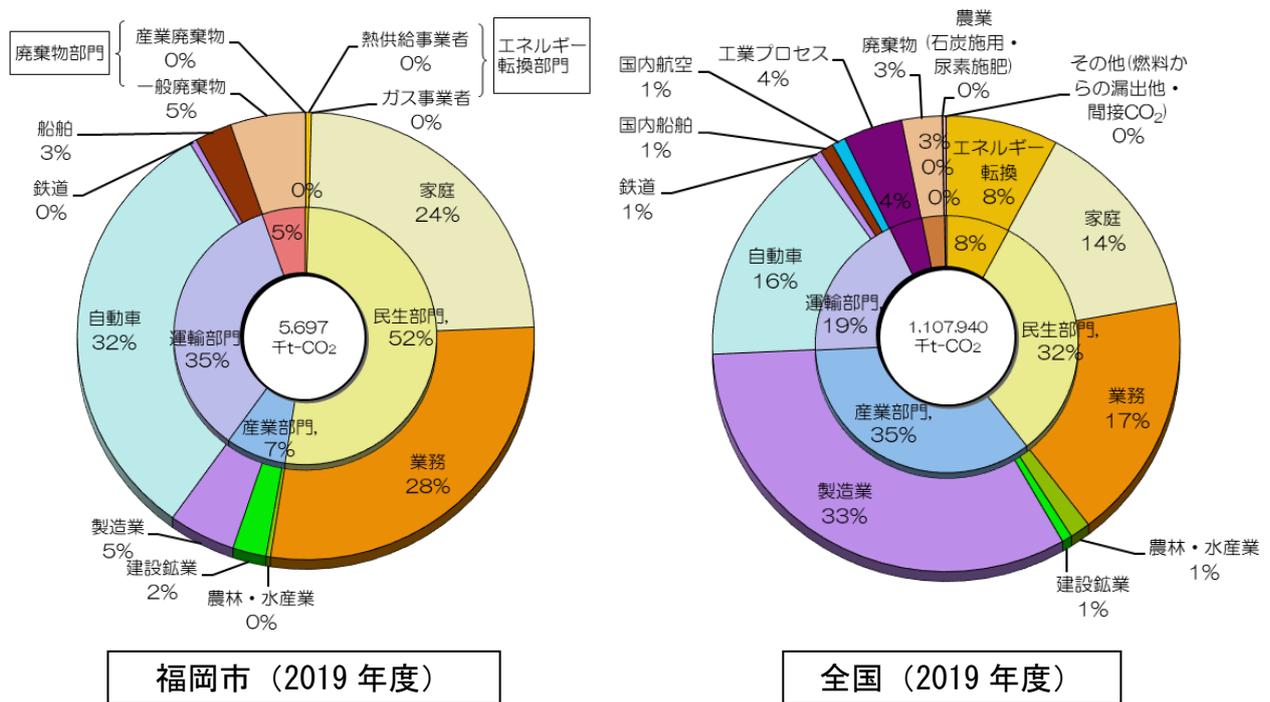
※四捨五入の関係のため、排出量の内訳と総量が一致しない場合がある

2 主な三部門（家庭部門・業務部門・自動車部門）における温室効果ガス排出量

福岡市地球温暖化対策実行計画における三部門の二酸化炭素排出量は、以下のとおりとなっています。

区分	平成25年度 (2013年度) 【基準年度】	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和元 /H25年度比
温室効果ガス排出量 (千t-CO ₂)	9,048	8,728	8,104	7,783	7,529	6,434	6,415	▲29%
二酸化炭素排出量 (千t-CO ₂)	8,550	8,179	7,518	7,155	6,871	5,749	5,697	▲33%
家庭部門 (千t-CO ₂)	2,566	2,358	2,118	1,963	1,894	1,356	1,365	▲47%
業務部門 (千t-CO ₂)	3,016	2,805	2,416	2,213	2,091	1,526	1,601	▲47%
自動車部門 (千t-CO ₂)	1,839	1,912	1,838	1,869	1,852	1,861	1,802	▲2%
家庭部門(世帯あたり) (kg-CO ₂ /世帯)	3,550	3,213	2,837	2,582	2,445	1,722	1,702	▲52%
業務部門(床面積あたり) (kg-CO ₂ /m ²)	126	117	100	92	86	63	65	▲48%
自動車部門(1台あたり) (kg-CO ₂ /台)	2,676	2,754	2,617	2,626	2,576	2,565	2,469	▲8%

3 二酸化炭素排出量の部門別内訳



4 福岡市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）における成果指標等の達成状況

	平成25年度 (2013年度) [基準年度]	令和2年度 (2020年度) [現状値]	令和4年度 (2022年度) [目標年度]
エネルギー消費量(千kl) (原油換算)	109	102	100 [基準年度比▲8%]
庁舎等から排出される 廃棄物量(t)	4,077	2,120	3,262 [基準年度比▲20%]
庁舎等において使用する 上水の使用量(千m ³)	2,314	1,771	2,083 [基準年度比▲10%]
庁舎等で使用する コピー用紙の使用量(t)	1,344	1,485	1,344 [基準年度以下]

5 福岡市の再生可能エネルギー導入状況

令和2年度における福岡市内の再生可能エネルギーによる発電規模は、24.0万kWと前年度と比べ約1万7千kW増加しています。

電源別の構成では、太陽光とバイオマスでほぼ占められています。

